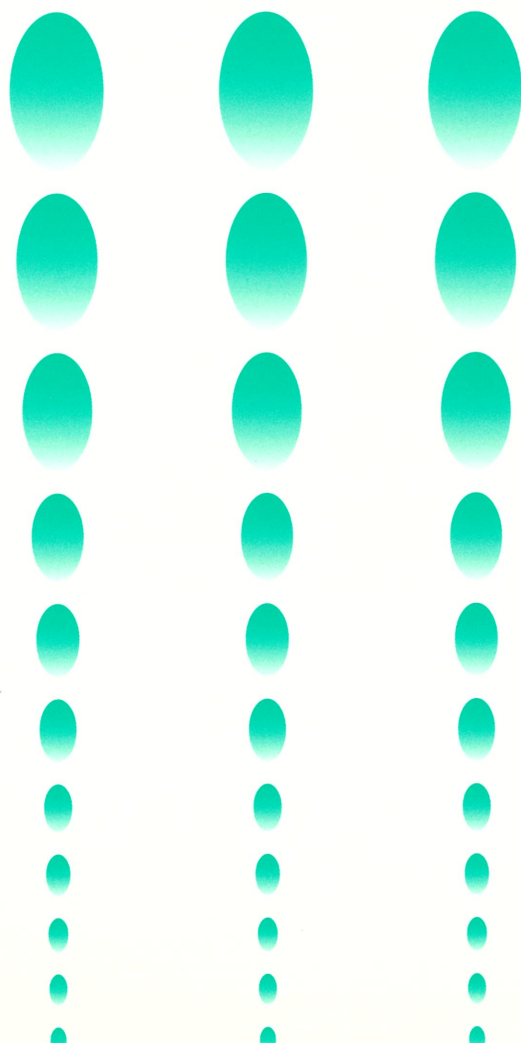


「会社再建」3つの秘訣

小さな会社の
“燃える集団”をつくる経営会議



ひとりでも
読む経営の本

はじめに

社長は熱い思いをもってがんばっておられるのですが、会社の中がバラバラで、資金繰りが大変な会社によく出会います。

こんな社長に出会うと、かわいそうになってきて、何とかしてあげたくなります。

会社が小さな時は、社長の熱い思いだけで、成長しました。しかし会社が大きくなってくると、すべての部門を一人で見ることが出来ないため、自分の判断で勝手に行動していく社員も出てきます。その結果、不良債権や在庫の金額を聞いて、びっくりするのです。

ある規模を超えて、会社の中が見えなくなってきたら、すでに会社の“病い”が始まりかけているのです。その“病い”は、社長の熱い思いだけで直すことは出来ません。

誰がどれだけががんばっているのかがわかる経営システムが、必要な時期に来ているのです。今からでも遅くはありません。今すぐ、この小冊子を読んで実行してみてください。

著 者

目 次

- 1** 会社再建には、社長の熱い思いと経営が見えるシステムが必要と言われていますが、どのような経営システムをつくればいいのですか？ 1
- 2** 小さな単位で採算を出す表は、どうしてつくればいいのですか？ 5
- 3** その表の中に経営者魂を入れるとは、どういうことですか？ 10
- 4** “燃える集団”をつくる経営会議とは、どのように行うのですか？
①全員参加の会議にする
②明日を考えた会議にする
③重点項目シートで、前月の実績と今月の予定を発表させる
④大きな会社の経営会議
⑤小さな会社の事例 15

